



第115号

2013/7

MOMO de イベント電車、スタート

6月7日(金)、ついにピアガー電6年目に突入となりました。今シーズンは9月の最終の金曜まで、毎週金曜に計17回運転する予定となっています。原稿執筆をしている7月5日の段階では7月の埋まり具合は8割ほど。8月9月はまだ若干の空きがありますが、例年通りのペースだとあっという間に予約で一杯になりそうな予感です。

かわら版7月号では、いままでの歴史を振り返りながら、8月からのサービスを開始する、「イベント電車カスタマイズプラン」をご紹介します。

MOMO de イベント電車って？

いままで行っていた「ワイン電車」や「ピアガー電」に加えて、今年の2月からいろいろな新企画がスタートしました。第1弾は2月15日に運転した「日本酒電車」、第2弾はその翌週2月22日に運転した「スイーツ電車」です。そのほかにも「ランチ電車」や「ディナー電車」など、MOMOを使ったいろいろなイベントを行っていく予定です。

実は、いままでこれらの電車にブランド名が付いておらず、せっかくなのでこの機会に新設しようということにつけたのが「MOMO de イベント電車」。ちょっとないちょっと変わった銘柄など多数取りそろえております。ストレートすぎるネーミングですが、どうぞよろしく願いいたします。

1,992人

2,008年夏にピアガー電の運転を開始して以来、昨年の6月までにご乗車いただいたお客様は1,992人。今年の統計はまだとってはいませんが、現段階で確実に2,200人は超えています。

季節ごとに人数のばらつきはあるものの、8割ほどは空席なし、満席での運転を行っています。「運転日の1ヶ月前には既に満席」ということも多いので、「乗りたい！」という方がおられましたら、お早めにご予約をお願いします。

新入社員研修？

結婚式の2次会や、歓送迎会、同窓会などいろいろなイベントで使っていただいているイベント電車。一度、私たちがもびっくりする目的でお使いいただいたお客様がおられます。それが「新入社員研修」。担当者様曰く、「前に乗ったときに、良い

笑顔で気持ちよくサービスしてくれたから」とのことでしたが、私たちスタッフとしてはうれしくもありません。いつも以上に気持ちを込めたサービスをさせていただきます。

カスタマイズプラン

今までも受け付けてきた13名からの半車貸切と26名からの全車貸切。貸切と言っても、シンプルなモノで、車両を占有できるという貸切の基本的な部分だけ提供してきましたが、この8月からは、お客様の要望に合わせていろいろなカスタマイズプランを設定させていただきます。

基本は、担当者とお話しただいて、それぞれにあったプランを、毎回提案させていただきます。お気軽に注文できるパックプランも何通りかご用意いたします。これらのパックプランの中でもお勤めのワンコイン500円の追加で楽しめるプランを何点かご案内。

・「日本酒電車プラン」…その名の通り日本酒を楽しんでいただけるプランです。

銘柄は担当者にお任せください。岡山の地酒だけではなく、日頃なかなか手に入りにくい銘柄など多数取りそろえております。

・「おかやまワインプラン」…岡山県内で収穫されたマスカットベリーAを使った岡山の地ワインを提供させていただきます。赤、白、ロゼとご用意させていただきます。ロゼと白の組み合わせがお勧めです。ワインはちょっと苦手…という方にも楽しんでいただけるプランです。

・「ビール飲み放題プラン」…その名の通り飲み放題プランです。今までやって欲しいというご要望がありましたが、このたびついにスタートします。

このほかにも多数のプランを用意させていただいております。お客様にぴったりのプランを設定させていただきますので、ご興味ご関心がおありの方はお気軽に、RACDA事務局までお問い合わせくださいませ。事務局不在の場合もありますので、FAXまたはメールのご利用をお勧めいたします。

ようやく6年目に突入したイベント電車。これからもお客様に楽しんでいただける企画を多数設定し予定ですので、どうぞ、ご期待ください。



特集

瀬戸内国際芸術祭 2013 夏会期まもなく開幕

RACDA かわら版連載コーナー
「ぼっけえ便利なバスマップ」の

小さな旅



大変賑わった芸術祭春会期の終了から3ヶ月、多くの学校で夏休みが始まる7月20日

より芸術祭夏会期が始まる。今会期では直島・豊島・小豆島・女木島・男木島・大島・犬島・高松港・宇野港のほかに、“イリコの島”とも言われる観音寺の『伊吹島』が会場となる。

宇野港からフェリーで20分の直島は、現代アートの聖地とも言われる島。ベネッセハウスミュージアム、家プロジェクト、地中美術館、そして体感するアート直島銭湯「I♡湯」。港の入口では草間彌生の作品である赤い水玉模様のかぼちゃが迎えてくれる。

瀬戸内海で2番目の大きさの小豆島は土庄港付近のほかに、肥土山地区、三都半島、福田港、坂手港など、島全体が会場になっている。会期中は芸術祭線も運行されるほかお得な一日乗車券も発売されている。小豆島へは新岡山港・宇野・日生・高松・姫路・三宮からアプローチできる。

女木島・男木島は高松港沖にある島。女木島は別名「鬼ヶ島」とも呼ばれ鬼が居たと言われる洞窟がある。また男木島は“おんば”と呼ばれる乳母車を島中で見かけることが出来る。女木島・男木島へは高松港より20～40分ほど。

犬島は岡山市東区の有人島。ここではかつて移動していた精錬所を美術館としている。そのシンボルが島にそびえる煙突。周囲4kmの島は1周歩いて約1時間。家プロジェクトなどを見ながら島を巡ってもいいだろう。犬島へは岡山駅からの直行バス(45分)または西大寺駅から西宝伝(30分)へ。宝伝港から

はあけぼの丸で犬島まで約7分。

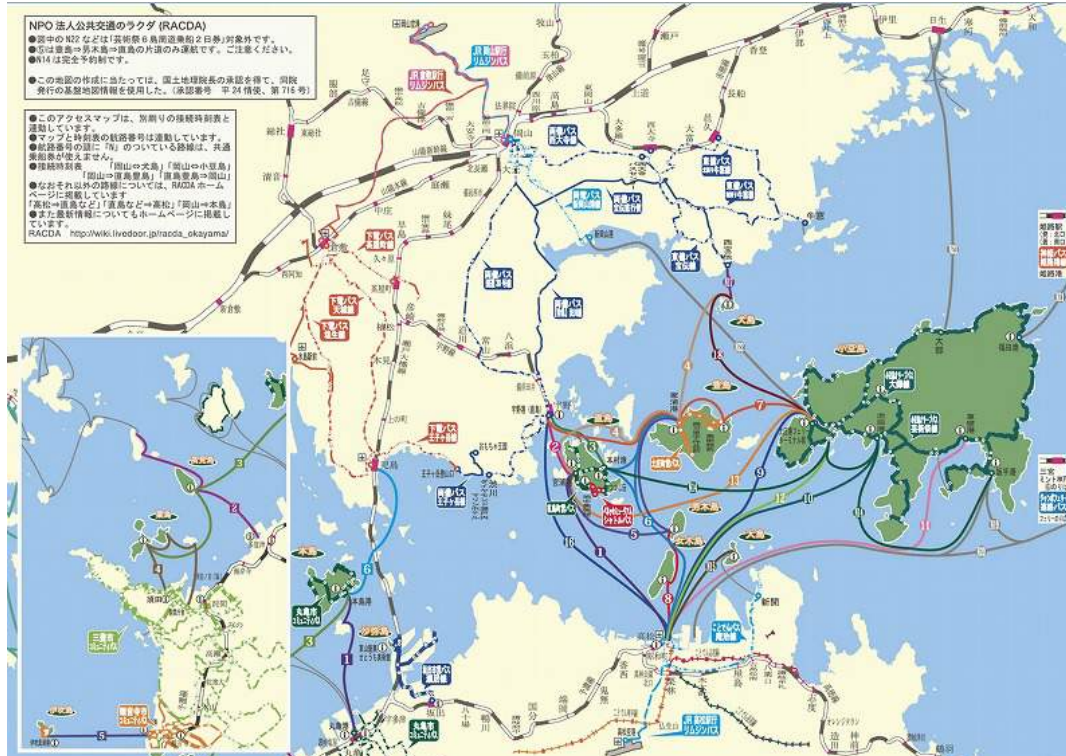
夏限定で会場となる伊吹島は観音寺港から西へ10kmの島。普段はイリコ(カタクチイワシ)漁に出る漁船や煮干加工の工場が並ぶのどかな島である。



観音寺市は高松市から約56km西に位置する街。JRで移動すると約1時間かかるが、予讃線普通列車の一部も芸術祭の“作品”として運行を行っている。写真家・荒木経惟氏の作品「アラキー列車」は乗車券のみで観賞可能。観音寺までの行き帰りは

この列車に乗車するのもいいだろう。観音寺駅から港までは30分間隔で運行の無料シャトルバスがある(約10分)。また夏会期中は高松空港から観音寺港まで臨時路線バスが運行されます。予約制ですのであらかじめ予約をお願いします。

いよいよ迫った芸術祭夏会期。いつもと違う瀬戸内海を見に行っはいかがだろうか。(松田和也)



瀬戸内国際芸術祭・備讃瀬戸アクセスマップ(接続時刻表付)を、岡山駅・観光案内所などで配布中